

## 若者のキャリア形成を全力でサポート 次世代を担う高校生たちの「企業訪問学習」の受け入れを実施

株式会社アクティオ

総合建設機械レンタルの株式会社アクティオ(本社:東京都中央区日本橋、代表取締役社長兼 COO:小沼直人、以下アクティオ)は、次世代を担う若者へのキャリア教育支援の一環として、2026年2月3日(火)に本社1階のレンサルティングスタジオで兵庫県立洲本実業高等学校の生徒7名の企業訪問学習の受け入れを実施しました。



「企業訪問学習」は、文部科学省が推進するキャリア教育の一環として、未来を担う中高生が社会における多様な職業について学び、自らのキャリアを考える足掛かりを得ることを目的とした取り組みです。

現在、建設業界では高齢化と労働人口減少による人手不足が課題となっています。アクティオは、「レンタル」に「コンサルティング」を合わせた「レンサルティング®」を掲げ、現場の課題解決や DX を推進しています。今回の企業訪問学習では、次世代の若者に最先端技術を肌で感じていただくことで、建設業界の従来のイメージを刷新し、将来の職業選択の幅を広げることを目指しました。

当日の学習プログラムでは、まず建設機械レンタル業界の役割やアクティオの事業についてレクチャーを行いました。続いて、VR を用いた工場見学や、安全教育 VR による建設現場の事故疑似体験を実施。さらに、シミュレーターによる重機操作体験や、アクティオが推進する DX の取り組みを紹介しました。

アクティオは今後も企業訪問を通じて建設業界の魅力を発信し、次世代の人材育成に貢献してまいります。

### ■参加した生徒のコメント

「今までこういう業界があることを知らなかったなので、知ることができてよかった」

「シミュレーターでの重機操作がとても楽しかった。またぜひやってみたい」

「安全教育 VR での事故疑似体験は臨場感があり、良い経験になった」

### ■当日の様子



アクティオが取り組む SDGs の紹介



VR での工場見学



アクティオが取り扱う DX 商品の紹介



シミュレーターによる重機操作体験

### ■実施内容

日時	2026年2月3日(火)
場所	アクティオ本社1階 レンサルティングスタジオ(東京都中央区日本橋)
参加校	兵庫県立洲本実業高等学校 2年生 7名
内容	建設機械レンタル業界についての説明 アクティオの事業活動やSDGsへの取り組みについての紹介 VRでの工場見学 安全教育VRを用いた事故疑似体験 シミュレーターによる重機操作体験 アクティオが取り扱うDX商品の紹介

## ■アクティオが展開する“レンサルティング”とは



アクティオのコンセプトである「レンサルティング」は「レンタル」と「コンサルティング」を合わせた造語で、商標登録しています。会長の小沼光雄は著書の中で次のように紹介します。『従来、建機の世界では「つくる」「売る」という要素が主だったところに、「知恵やノウハウをプラスして貸す」という新たな価値提案をビジネスとして行ったわけです』（算数とハートの経営2014年 幻冬舎）。現在の建設機械は、非常に高度化しており、せっきくの機能も、現場で最大限に活用することは難しくなっています。目的を果たすため、状況に応じてどの機能をどのように使うのか。アクティオは単に機械を貸すだけでなく、専門的なノウハウを持ってサポートします。建設機械を熟知する専門レンタル会社だからこそ可能な、しかしレンタルの枠組みを飛び出した提案型のサービスがレンサルティング。時代とともに、その意義を拡大し、進化を続けています。

【アクティオ公式サイト】<https://www.aktio.co.jp/>

【アクティオ Facebook ページ】<https://www.facebook.com/aktio.jp/>

## ■本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社アクティオ 広報部 担当:成澤、吉田

TEL:03-6262-7867 FAX:03-6262-7982 e-mail:koho@aktio.co.jp